

都城市マニフェスト評価結果報告書

平成28年9月16日

はじめに

我が国は、2008年をピークとして人口減少局面に入っており、今後2050年には9,700万人程度となり、2100年には5,000万人を割り込む水準にまで減少するとの推計がある。

このような中、いかに魅力的な環境を整え、企業と人を都城市に集められるかについて具体的な取り組みを進めていかなければならない状況にある。

こうした状況に効率的・効果的に対応するため、限られた資源を有効に活用しつつ、積極的な行財政改革に取り組み、職員一人一人の意識改革、市民との協働を推進することが必要不可欠となっている。市民と行政がともに協力し、最小の費用で最大の効果を上げ、公共の福祉と地域経営力の向上を達成することが求められている。

また、本年4月に発生した熊本地震は物流網の寸断もあり、九州に大きな影響を与えた。近い将来高い確率で起こると言われている南海トラフ等に対する備えも求められている。

都城市におかれては、平成24年11月の池田市長の就任後、市民との約束として掲げられた市長のマニフェストに係る施策を、中心的施策として後期基本計画に位置づけ、各部局において各種事務事業に積極的に取組まれている。

当委員会は、市長のマニフェストに記載された施策に係る各部局の取組みについての評価の透明性及び客観性を向上させることを目的に、行政の外からの視点により、次のとおり各部局の評価を実施した。

評価対象と方法

マニフェストの達成度の評価に当たっては、マニフェストに記載された項目（中分類）ごとに、関連する部局を選定してヒアリングを行い、該当事業の実施状況を踏まえ、「都城市マニフェスト評価に関する指針」に基づき、項目ごとに「到達度」、「貢献度」、「難易度」という3つの視点から、委員毎にそれぞれ採点を行い、意見を付した。

評価日程

次の日程により、都城市マニフェスト評価委員会を開催した。

平成28年8月29日（月）9：30～ 概要説明、ヒアリング

平成28年9月16日（金）14:00～ 最終打ち合わせ
14:30～ 市長報告会、意見交換

評価結果（達成度）

	マニフェスト項目（大分類）	平均点数
I	安心安全なまちづくり	82.67
II	農林畜産業支援	83.00
III	地場産業支援	82.50
IV	人創りのための教育支援	82.67
V	スポーツ・文化活動支援	80.50
VI	医療・福祉・子育て支援	86.00
VII	行財政改革	87.33
VIII	新たな取組み	83.33
総合評価		83.50

意 見

都城市においては、平成24年11月に市長に就任された池田市長のもと、市長が掲げる7つのマニフェストを踏まえた総合計画・予算に基づき、各部局において、各種事業に鋭意取り組まれている。

池田市長のマニフェストに係る3回目の外部評価となるこの度の評価については、重点的な事務事業を継続して実施された結果、多くの事業で成果が出ており、概ね良好である。

今後においても、当委員会の意見を参考に、引き続き積極的な事業の展開を図り、より実効性のあるマニフェストの達成に努め、市民の満足度向上が図られるようお願いしたい。

都城市マニフェスト評価委員会

委員長 長池國裕
副委員長 濱田英介
委員 小山大介

都城市マニフェスト評価に関する指針

平成 20 年 7 月 4 日

平成 21 年 5 月 22 日改正

平成 26 年 7 月 1 日改正

(目的)

第1条 マニフェスト達成に向け市が取り組む事業等に関して、都城市マニフェスト評価委員会（以下「委員会」という。）が実施する評価に際し、第三者からの視点を確保し、評価の透明性及び客觀性を向上させるため、都城市マニフェスト評価に関する指針（以下「指針」という。）を定める。

(評価の視点及び方法)

第2条 この指針において定める評価の視点は以下によるものとする。

- ① マニフェスト達成のための到達度の視点
- ② マニフェスト達成のための貢献度の視点
- ③ 成果目標・社会情勢等による難易度の視点

(評価の方法)

第3条 評価の方法は、前条についての配点の内訳をあらかじめ委員に示し、100 点満点で、マニフェストに記載された項目ごとに評価する。

2 評価の視点ごとの配点は、別表第 1 によるものとする。

3 委員は、様式第 1 号により、それぞれについて評価する。

(評価の公表)

第4条 評価結果は、委員の評価点数の平均点を委員会の評価結果として、公表するものとする。

附 則

この指針は、公表の日から施行する。

別表第 1

評 価 の 視 点		配点
① 到 達 度	マニフェスト達成のための到達度の視点	60
② 貢 献 度	マニフェスト達成のための貢献度の視点	30
③ 難 易 度	成果目標・社会情勢等による難易度の視点	10
合 計 (100 点 満 点)		100

**平成 28 年度
都城市マニフェスト評価委員会
(平成 27 年度取組み)**

評価集計表(点数のみ)

平成28年度 都城市マニフェスト評価委員会 評価集計表(平成27年度取組み)

大分類		中分類		小分類		A委員	B委員	C委員	平均
I	安心安全なまちづくり	(1) 災害に負けない強いまちづくり	1 新燃岳噴火対策	79	85	84	82.67		
			2 防災拠点の整備						
	農林畜産業支援	(2) 農林畜産業の活性化	3 地域防災体制の充実						
			4 都城・志布志道路の早期全線開通に向けた取組み						
II	地場産業支援	(3) 地場産業の育成・活性化	5 大分類平均	79.00	85.00	84.00	82.67		
			6 次産業化の推進						
			7 農林畜産業の後継者育成						
			8 森林・林業再生プランの推進						
			9 食糧供給基地都城のさらなる拡大						
			10 大分類平均	82.00	85.00	82.00	83.00		
			11 地場産業の育成・活性化						
			12 中心市街地の活性化						
III	“人創り”のための教育支援	(4) 中心市街地の活性化	13 活性化に向けた民間の取組み支援	82	85	83	83.33		
			14 中心市街地の活性化						
			15 導用創出ゾーンの整備						
			16 新たな雇用創出						
			17 スポーツ・文化活動会館の誘致						
			18 都城の認知度アップ						
IV	スポーツ・文化活動支援	(5) 都城の認知度アップ	19 都城の認知度アップ	81	85	78	81.33		
			20 世界に羽ばたく子どもたちの育成						
			21 子どもたちの郷土愛の醸成と人間力の向上						
			22 生涯学習のバックアップ						
			23 公民館を中心とした地域活動との連携						
			24 大分類平均	82.00	84.50	81.00	82.50		
			25 スポーツ・文化施設の整備						
			26 スポーツ・文化活動の支援						
V	医療・福祉・子育て支援	(6) 図書館の図書の充実	27 図書館の図書の充実	81	85	80	82.00		
			28 図書館サポートセンターの配置						
			29 大分類平均	80.50	82.50	78.50	80.50		
			30 健康医療ゾーンの整備						
VI	行政改革	(7) 医療・福祉の更なる充実	31 医療・福祉の更なる充実	84	95	86	88.33		
			32 子育て支援						
			33 市職員の削減						
			34 市民サービスの維持・向上						
			35 市職員の削減						
			36 健全な行財政運営						
VII	新たな取組み	(8) 健全な行財政運営	37 効率的な予算編成システム・健全な財政運営の確立	86.00	90.00	86.00	87.33		
			38 大分類平均						
	新たな取組み	(9) マニフェストプラスαの新たな取組み	39 新たな取組み	82	90	78	83.33		
			40 大分類平均						
VIII	全体平均		41 全体平均	82.06	86.19	82.25	83.50		